

クラス番号	613	担当教員名	永井 健
テーマ	社会的養護を基に子ども、家庭支援を考える		
著書・論文 研究課題等	主著：『児童福祉ぎふ』NO48～NO49 調査研究委員会報告・共著 『子どもと福祉』VOL2「現場実践レポート」（明石書店） 『子どもの社会的養護内容』（福村出版）共著 『心の地図を広げる安全パートナーリングと三つの家』（パートナーリング岐阜）共編・共著 研究課題：児童養護施設で暮らす子どもとの向き合い、家族支援の工夫、 職員と子どものチームワーク		

ゼミナール概要

キーワード：社会的養護、児童養護施設、子どもが主人公の施設づくり、安全パートナーリング

目的、内容、方法等：

・担当者はこれまで、学童保育指導員や児童養護施設指導員～施設長の経験の中で、多くの子どもたちとかかわってきました。その中で、子どもが主役となった生活づくりとはどんなことか、子どもと向き合うとはどういうことか、家族支援の在り方等を考えながら働いてきました。

学童保育と児童養護施設の決定的な違いは、放課後の生活の場であるか住居であるかの違いです。その違いにより子どもの過ごし方も違ってきますが、どちらも子どもが生き生きと生活づくりを行える場であることを追求しなければなりません。安心安全ということがキーワードのように語られる時代ですが、もう少し深くみると「生活の質」が問われていることに気づき、その向上を目指さなければならないと思います。

学童保育と児童養護施設を並べると混乱を招くかもしれませんので、児童養護施設での子どもとの向き合いと職員のチームアプローチのための実践論を軸に、子どもの放課後の過ごし方も考察できるような内容にしたいと思います。

授業計画：

3年 ①集団あそび体験 ②児童養護施設について学ぶ ③第44回全国児童養護問題研究会44回全国大会（愛知6月末）の学生ボラ ④子どもと向き合う工夫 ⑤卒論に向けてのテーマ決定と発表会

☆連絡事項

- ・このゼミを希望される皆さんは、エントリーシートに①社会的養護に関心を持っているテーマと希望理由を記載してください。
- ・ゼミが決まった学生は、今後の連絡等のため、教員へメール（t-nagai2@ob.aitai.ne.jp）をしてください。
- ・使用テキストは、今後お知らせします。

担当教員からのメッセージ



今の子どもたちが置かれた状況を、皆さんの体験も含めた語り合いを通して身近に引き寄せながら、子どもたちと向き合う工夫、家族支援の工夫等実践的な学習ができるゼミにしたいと考えています。将来、社会的養護の現場（児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設、母子生活支援施設、家庭支援機関）等で働きたいと考えている学生を歓迎します。